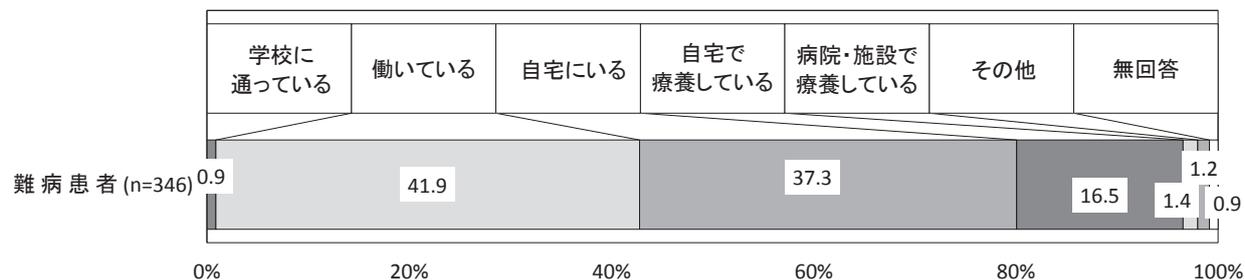
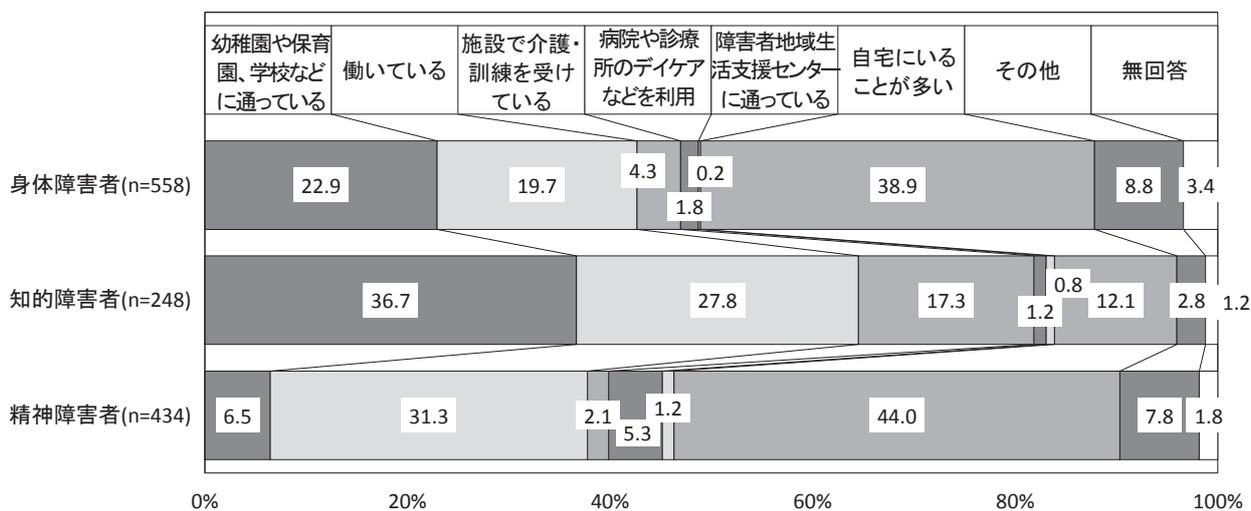


3 日中の過ごし方について

日中の主な過ごし方は、身体障害者では「自宅にすることが多い」が最も多く 38.9%である。知的障害者では、「幼稚園や保育園、学校」が最も多く 36.7%、次いで「会社など」が 27.8%、「施設」が 17.3%となっている。

精神障害者では、「自宅にすることが多い」が最も多く 44.0%である。

難病患者では、「働いている」が最も多く 41.9%、次いで「自宅にいる」が 37.3%で続いている。



【前回調査との比較】

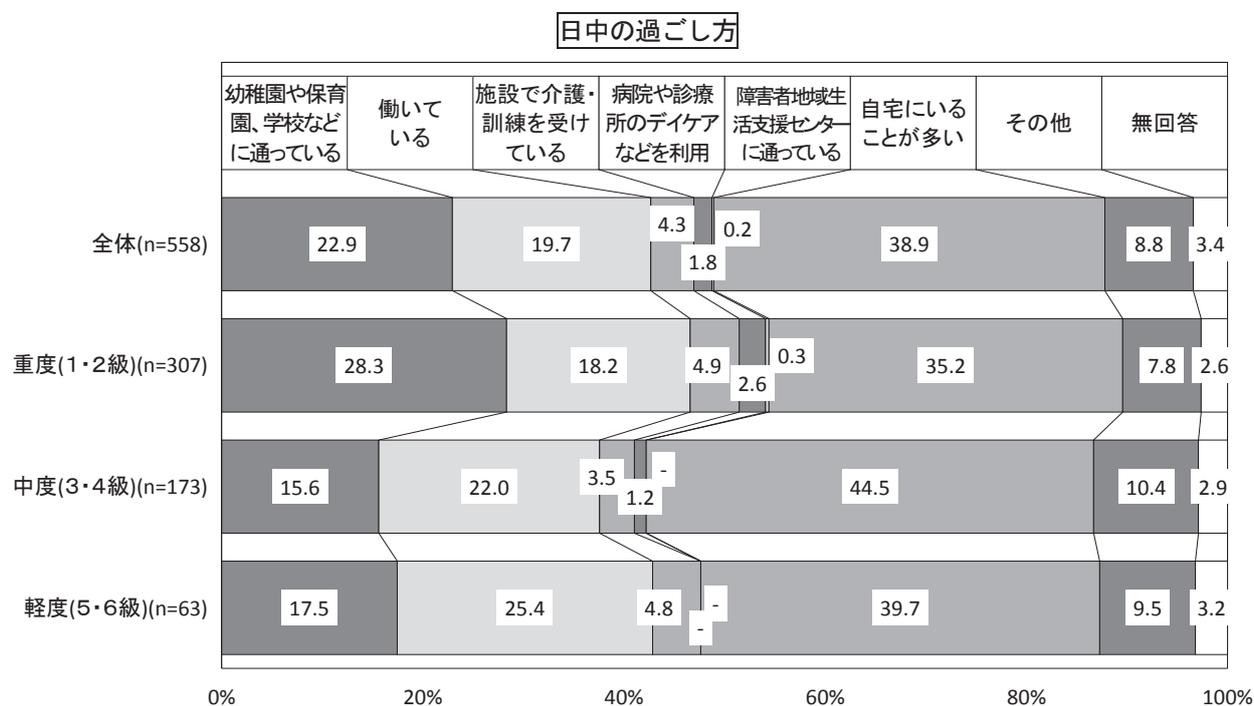
すべての区分で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」の割合が前回より高くなっているが、その理由として今回の調査対象者の年齢構成の違いによるものが考えられる。

(単位：%)

区分		1 位	2 位	3 位
身体障害者	今回 (n=558)	自宅にすることが多い (38.9)	幼稚園や保育園、学校などに通っている (22.9)	働いている (19.7)
	前回 (n=2,046)	自宅にすることが多い (60.4)	働いている (14.6)	施設で介護・訓練を受けている (10.4)
知的障害者	今回 (n=248)	幼稚園や保育園、学校などに通っている (36.7)	働いている (27.8)	施設で介護・訓練を受けている (17.3)
	前回 (n=350)	働いている (36.3)	幼稚園や保育園、学校などに通っている (27.7)	自宅にすることが多い (13.4)
精神障害者	今回 (n=434)	自宅にすることが多い (44.0)	働いている (31.3)	幼稚園や保育園、学校などに通っている (6.5)
	前回 (n=311)	自宅にすることが多い (49.2)	働いている (17.7)	病院や診療所のデイケアなどを利用している (14.1)

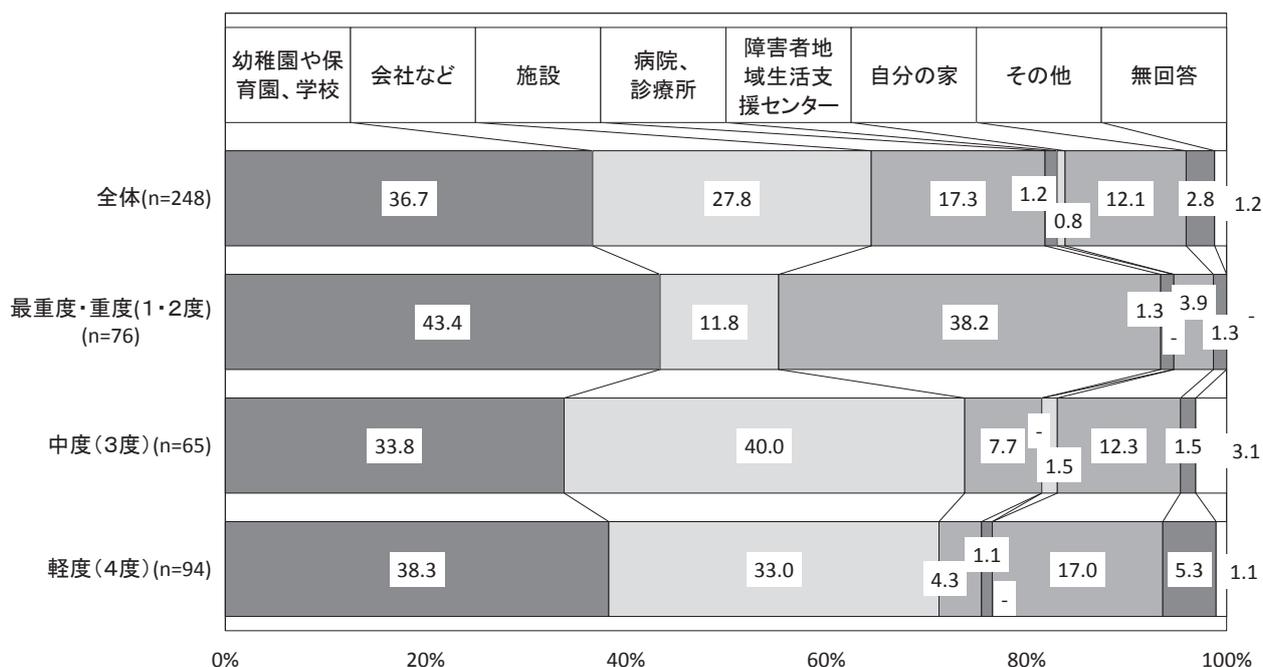
【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）ほど「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が多いのに対し、中度（3・4級）、軽度（5・6級）では「幼稚園や保育園、学校などに通っている」の割合が低下し、「働いている」「自宅にすることが多い」が高くなっている。



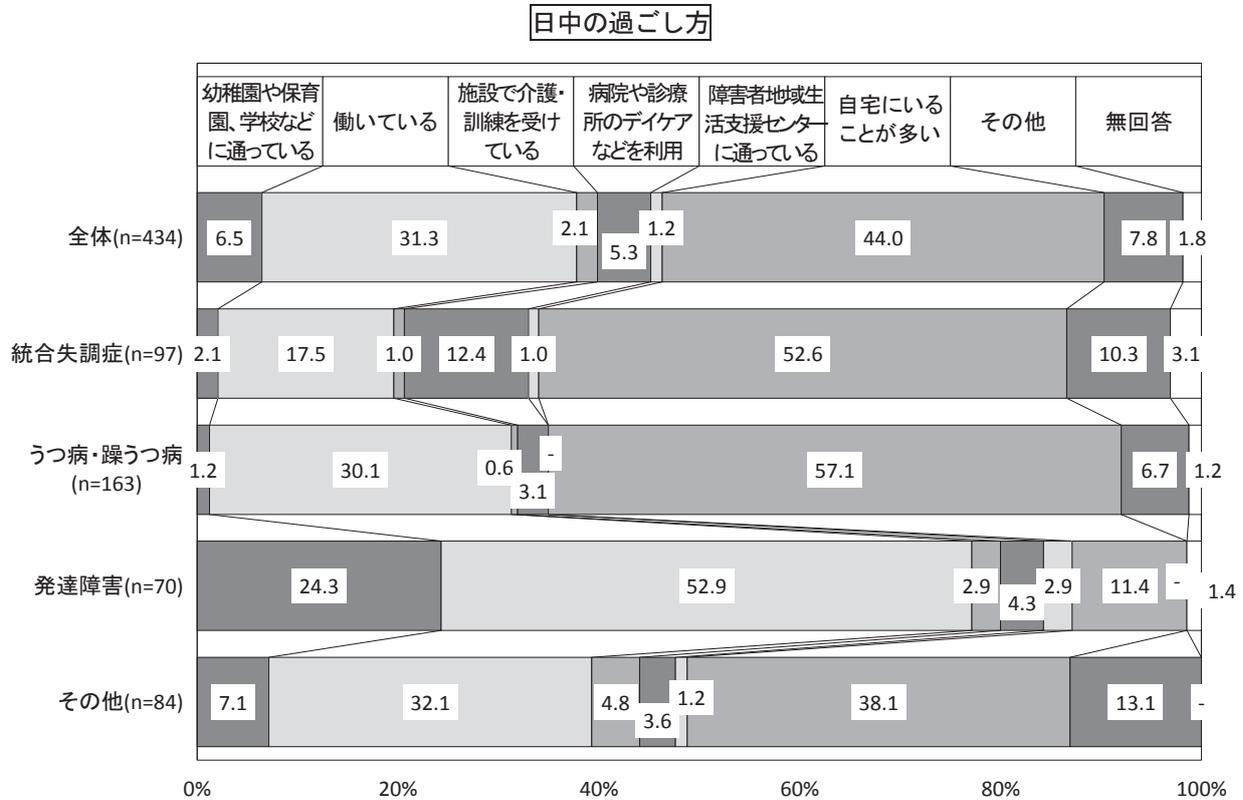
【知的障害者】

障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）ほど「幼稚園や保育園、学校」「施設」が多く、中度（3度）、軽度（4度）ほどその割合が低下し、「会社など」が多くなっている。



【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では「病院や診療所のデイケアなどを利用している」（12.4%）、「自宅にすることが多い」（52.6%）、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「自宅にすることが多い」（57.1%）、発達障害と診断されている人では「幼稚園や保育園、学校などに通っている」（24.3%）、「働いている」（52.9%）がそれぞれ多い。



【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では「自宅にすることが多い」（42.0%）、膠原病系では「働いている」（52.3%）がそれぞれ多い。

